



新関 一夫 議員



録画映像

**質問1** 積極的にワイン生産活動を後押しすべきと考えますが

**市長** ワイン振興の本格的な活性化対策を検討してまいります

**問** 「雇用を創る・守る」ことが「生活を守る」ことにつながっていく思いから、以下何点かお聞きします。

(1) 一次産業に関する件  
ア 農業について

国の水田支援の急激な見直しなどは、農業者にとって大きな問題となることと思いますが、市として今後どのような考えで臨むのかをお聞きします。

イ 漁業について

私は単に補助事業のメニューを増やすのではなく、「選択と集中」を目指すべきと考えます。漁業者とよく協議しながら抜本的な事業を構築していくべきと考えますが、考えをお聞きします。

(2) 文月・向野地区でのワイン生産等に関する件  
私は、企業誘致が厳しい現状であると考え、当地がワイン醸造用のブドウの生産に適しているとの認識から、積極的にワイン生産活動を後押しすべきとの立場でお聞きします。

複数の方が当地にてブドウ栽培を含め、ワイナリー、オーベルジュ等を展開したい旨を伝え聞いていますが、現在までの経緯、今後の見通し、考えについてお聞きします。

(3) 観光振興に関する件

観光振興を主体的に担ってもらうために一般社団法人化した観光協会は、その任を果たしているのでしょうか。

市として、観光協会に何を期待し、どうしていくことが望ましいと考えるのかをお聞きします。

**答(市町)** (1)ア 国は、水田活用の直接支払交付金を含む米政策の見直しを行っています。

今後、交付金の対象とならない水田が発生することにより、耕作放棄地化することが懸念されることです。

市としては今後、交付対象水田の現状把握や交付対象外農地の有効活用に向けた検討など、農協や土地改良区と連携、情報共有を図りながら進めてまいります。

イ 市では、「つくり育てる漁業」への転換を促すため、様々な事業を展開してきており、令和4年度は茂辺地漁港に、定置式のクレーンを設置します。

種苗放流事業では、アワビ・ナマコの種苗生残率向上のため大型種苗の導入及び放流数量を増大します。

表朗カキは、導入種苗に対しての補助

率を引き上げることで利益率を向上させ、規模拡大や新規の養殖漁業者の確保を図ってまいります。

また、漁船・漁具など広い範囲に補助金を交付し設備更新を促すことで、漁への意欲向上及び漁業経営の維持・安定に寄与したいと考えています。

市としては、漁業者をはじめ、漁組・

漁業関係機関と連携を図ったなかで、必要な施策を講じてまいります。

(2) 現在、同地区で醸造用ブドウの栽培に取り組んでいる事業者は、(株)農楽の佐々木さんを含めて4事業者となっています。

この4事業者が計画している施設の整備には、国の交付金申請を進めているところであり、市の支援策としては、ふるさと融資の活用についての検討、国の交付金の採択を受けた場合には上乗せ補助を、不採択となった場合には効果的な支援内容を検討しているところです。

また、「北斗市ワインによる地域活性化検討会議」を令和4年度に発足させ、これからのワイン振興の本格的な活性化対策を検討していくこととしています。

(3) 観光協会の現状は各種補助事業の遂行をはじめ、観光交流センターの指定管理者としての責務を果たすことに専念しています。引き続き、観光交流センターを拠点としてイベント等の実施により体力強化を図り、観光協会としての役割が十

分に果たせるよう支援してまいります。

**質問2** 随意契約の運用、基準については

**市長** 契約は法令に、基準は事務規則に基づき契約してまいります

**問** 入札に関して、随意契約の運用、基準についてお知らせください。

**答(市長)** 随意契約の運用については、法令の規定に基づき、緊急の必要により競争に付することができない場合、競争に付することが不利と認められる場合などにおいて、随意契約により契約を締結してまいります。

また、基準については、北斗市契約事務規則の規定に基づき、予定価格が工事または製造の請負の場合は130万円を超えないものなど、それぞれの契約の種類に応じた金額の範囲内で随意契約により契約を締結してまいります。

**問** 公共施設のLED化について、どうして高額の随意契約を結んだのか。

**答(副市長)** 指名願いが1社しか出ていなかったため、随意契約を結んでいます。



LED照明の北斗市スポーツセンター

